

LIVE BOARD がヘラルボニーによる世界自閉症啓発デーに合わせた アートプロジェクト「Beyond Blue Project」に参画

4月2日の世界自閉症啓発デーに合わせ、
「青」のアートを LIVE BOARD が保有する都内のデジタル OOH にて放映

この青も、
誰かの世界。

「(無題) (青)」
Midori Kudo
工藤 みどり
るんびにい 五輪展 (1号手帳)

ここにあるのは、すべて障害のある作家が描いたアートです。
空の青、海の色、誰かの瞳に映る青。
人の視点の数だけ、描く人の数だけ、さまざまな「青」があるように、
この世界には、さまざまな感性が溢れている。
自閉症啓発デーのシンボルカラーの「青」で描かれたアートで、
東京を染め上げる。
違いこそが、世界を塗りかえていくはずだから。

4月2日は、
世界自閉症啓発デーです。

Beyond Blue Project
HERALBONY
Live Board

株式会社 LIVE BOARD（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長 田中 淳泰 以下、LIVE BOARD）は、株式会社ヘラルボニー（本社：岩手県盛岡市 代表取締役 Co-CEO 松田 崇弥・松田 文登 以下、ヘラルボニー）が世界自閉症啓発デーに合わせ実施する「Beyond Blue Project」に参画いたします。本プロジェクトの一環として、2026年4月2日(木)～4月15日(水)の期間、LIVE BOARD が保有する東京都内のデジタル OOH にて、自閉症啓発デーのシンボルカラーである「青」のアートを放映いたします。

■Beyond Blue Project について

ヘラルボニーは4月2日の「世界自閉症啓発デー」に合わせ、「Beyond Blue Project」を始動します。2007年に「世界自閉症啓発デー」が国連総会で定められて以来、世界各地で自閉症やその他の発達障害への理解を広げるための啓発活動が展開されてきました。シンボルカラーは「青」。日本でも東京タワーをはじめ、各地でブルーライトアップなどの取り組みが行われています。ヘラルボニーは2026年、「この青も、誰かの世界。」というメッセージを掲げ、世界自閉症啓発デーのシンボルカラーである「青」のアートを起点に、様々なステークホルダーとの共創を通じて、“ちがいが”社会を豊かにする価値として広がるアクションを展開します。

■ 参画の背景と LIVE BOARD の想い

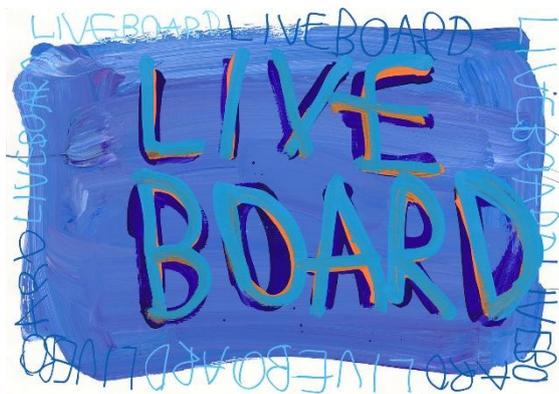
LIVE BOARD は、ヘラルボニーが掲げる「異彩を、放て。」というミッションおよび本プロジェクトのビジョンに深く共鳴し、参画を決定いたしました。

LIVE BOARD はこれまで、街行く中でふと目にしたデジタル OOH から素敵な発見や気づきが生まれる「セレンディピティ（偶然の出会い）」の創出に努めてまいりました。本プロジェクトにおいて、街中のスクリーンから届けられる「青」のアートが、人それぞれの多彩な感性に触れる体験となり、自閉症や発達障害への理解を深め、社会全体で改めて考えるきっかけとなることを目指します。

Beyond Blue Project : <http://worldautismawarenessday.heralbony.com/2026/>

■ LIVE BOARD をイメージしたオリジナルアートを放映

本プロジェクトの参画にあたり、ヘラルボニー契約作家・中尾 涼氏に、LIVE BOARD をイメージしたオリジナルアートを制作いただきました。この「青」のアートは、期間中、LIVE BOARD が保有する都内のデジタル OOH にて放映されます。デジタル OOH という都市のインフラを舞台に、中尾氏の感性が捉えた LIVE BOARD の世界観が、街を行き交う人々に新たな視点を提供します。



《タイトル不明》

中尾 涼 Ryo Nakao

やまなみ工房（滋賀県）

元々は紙を切って大好きな扇風機のプロペラ作っては眺めることが好きだった彼だが、職員の書く字を真似たり、窓に指で文字をなぞる様子から、絵画に取り組みきっかけとなった。英字の他数字の作品も多く、描くときは、一切の迷いや躊躇は無く、あっという間に描き終え、勢いや力強さが英字や数字の書体にも表れている。文字は色を変えて筆やペン、時には指を用いて何度も上からなぞることが多く、より作品に深みをもたらしている。最近は文字だけでなく、人物や自分の好きなものを絵にされる作品も生まれ、クールな作風と合わせて彼独特の感性が作品にも反映されている。

■ 放映概要

放映期間：2026年4月2日(木)～4月15日(水)

場所：LIVE BOARD が保有する都内約 50 カ所のデジタル OOH

※ ムービーはランダムに配信されます。

※ 各媒体により放映開始/終了時間が異なる場合がございますため、ご了承ください。

※ 配信面の支障などに応じ、全ての配信面での放映が実施できない場合がございます。ご了承ください。

※ ビジョン設置ビル、テナント様への問合せはご遠慮ください。

■株式会社ヘラルボニー



HERALBONY

「異彩を、放て。」をミッションに、障害のイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指すクリエイティブカンパニー。障害のある作家が描く 2,000 点以上のアート作品を IP ライセンスとして管理し、正当なロイヤリティを支払うことで持続可能なビジネスモデルを構築。自社ブランド「HERALBONY」の運営をはじめ、企業との共創やクリエイティブを通じた企画・プロデュース、社員研修プログラムを提供するほか、国際アートアワード「HERALBONY Art Prize」の主催など、アートを軸に多角的な事業を展開しています。2024 年 7 月より海外初の子会社としてフランス・パリに「HERALBONY EUROPE」を設立。

会社名	株式会社ヘラルボニー
代表者	松田 崇弥、松田 文登
所在地	岩手県盛岡市開運橋通 2-38 (本社) 東京都中央区銀座 2 丁目 5-16 銀富ビル 3F 受付 (東京拠点)
設立日	2018 年 7 月 24 日
ホームページ	コーポレートサイト : https://www.heralbony.jp オンラインストア : https://store.heralbony.jp/

■株式会社 LIVE BOARD

データドリブンにターゲティングや効果検証を実現するデジタル OOH アドネットワークオペレーター



OOH 領域において国内で初めてインプレッション (VAC) ※に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、"そのとき、その場所で、その広告を"見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展開。加えて、屋外・屋内、電車内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングなど、従来の OOH では難しかった"ヒト"基点による配信を可能にしました。

※ LIVE BOARD は、OOH グローバルメジャメントガイドラインにて推奨されている、視認調査に基づく視認率を加味したインプレッション (VAC=Visibility Adjusted Contact / のべ広告視認者数) を採用しています。媒体の視認エリアの中にいる人数 (OTS=Opportunity to See) のうち、OOH 広告に接触する可能性のあるべ人数 (OTC=Opportunity to Contact / 視認エリア内での移動方向や障害物の有無を考慮) を定義。この数に媒体に応じた視認率を加味することで、実際に広告を視るであろうべ人数 (VAC) を推計しています。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 田中 淳泰
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル7階
設立日	2019 年 2 月 1 日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営、デジタル OOH 広告媒体の開拓、デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

<本リリースに関するお問合せ先>

LIVE BOARD 広報事務局 担当 : 加藤・鏡

TEL : 090-3050-8873 / 03-5843-0932 E-mail : info_press@liveboard.co.jp